

この『生きがい通信』は、兵庫県生きがい創造協会本部の事業やいなみ野学園・阪神シニアカレッジなどの高齢者大学の諸事業、各施設の情報をお知らせしています。

これまでのトピックス

いなみ野学園短期集中講座として、3講座を実施！！

生涯学習部では、短期間の学習講座の開設に対するニーズに対応するため、平日の午後やいなみ野学園の休日などの学舎を活用し、家庭生活で役立つ趣味・知識等の分野について、広く県民を対象とした「短期集中講座」を、今年度初めて実施しました。

「思いが伝わる話し方」「くらしに役立つ！算数・数学」「はじめての園芸 入門ミニ講座」の3講座で、どの講座も短期集中型で参加しやすかったこともあり、ほぼ満席になりました。

「思いが伝わる話し方」では、ラジオ関西の番組パーソナリティー藤原正美さんを講師に迎え、発声方法や滑舌などプロのテクニックを伝授されるとともに、プレゼンテーションや朗読の仕方など人前で話すコツを教わりました。「くらしに役立つ！算数・数学」では日常に役立つ数学的思考方法を、また、「はじめての園芸」では園芸初心者を対象に、実習を含めたミニ講座を開催しました。

いずれの講座も、「プロの話し方で参考になった」、「久しぶりの算数の問題で頭の体操になった」、「園芸に興味があり何から始めればよいのかわからなかったが、わかりやすく教えて貰えた」など、参加者から好評を得ることができ、来年度もより充実した内容で短期集中講座を実施します。



「理事長のひとこと」

〔(公財)兵庫県生きがい創造協会理事長兼いなみ野学園長 林 省吾 〕

— 生涯にわたる学びを応援する先導拠点 —

一昨年来の新型コロナは、現在、第6波となり未だ多くの感染者が発生しています。皆様方には、引き続き基本的な感染防止対策に努めご留意ください。

さて、今回の「生きがい通信」では、令和4年度の事業計画をお知らせします。

生きがい創造協会は、「地域社会を支える学びの支援」、「多様な交流・連携による学び・地域づくりの支援」を柱に、ポストコロナ社会を見据え、ICTの活用や安心安全な環境整備、高齢者の学びのニーズに対応した事業を展開します。

特に、ICTの活用では、著名な講師による講座を、各高齢者大学間のオンライン合同講座として実施することや、動画配信による在宅学習など学びの継続にも努めます。

また、高齢者放送大学では、コロナ禍でも自宅に居ながらにして学べる特長を活かし、誰でも参加できるよう年齢や居住制限を撤廃する制度改正を行い、多世代で興味が持てる番組の配信に努めます。

さらに、いなみ野学園短期集中講座では、ニーズを踏まえ、暮らしに役立つ知識や趣味、生活支援分野など幅広く実施してまいります。

当協会では、令和4年度も県民の生涯にわたる学びを応援する先導拠点として、積極的に事業を展開してまいります。



令和4年度は、県の行財政運営方針の見直し動向を踏まえ、引き続き「県民の生涯にわたる学びを応援する先導拠点」の実現に向けて、地域社会を支える学びの支援、多様な交流・連携による学び・地域づくりの支援等に取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染拡大が未だ収束しない中、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に十分留意しつつ、ポストコロナ社会を見据え、ICTの活用を一層推進し、安心安全な環境整備に配慮した高齢者等の学びのニーズに対応するとともに、当協会の経営の健全性の確保に向け、次の点に重点を置いた事業展開を図ります。

1 生涯学習・地域づくり活動の総合的推進・支援

項 目	事 業 名
(1) 生涯学習に係る情報提供・調査研究の実施	◆ひょうごインターキャンパスの運営 ◆生涯学習リーダーバンクの運営 ◆生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施 ◆生涯学習情報コーナーの運営 ◆ウィズコロナ、ポストコロナの公民館利用など生涯学習に関する調査研究の実施 ◆生涯学習情報の収集と提供（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）
(2) あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座等の実施	◆生涯学習公開講座（協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路） ◆いなみ野学園多世代交流応援プロジェクトの実施 ◆いなみ野学園短期集中講座の実施
(3) 生活創造活動グループに対する支援	◆生活創造情報プラザ（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）
(4) 生涯学習関係機関職員研修の実施	◆社会教育関係職員等研修
(5) ふるさとひょうご創生塾の実施	◆ふるさとひょうご創生塾

2 地域社会を支える高齢者の学びの支援

項 目	事 業 名
(1) 高齢者大学事業の充実	◆いなみ野学園（4年制大学講座、陶芸学科専修コース、大学院講座 等） ◆阪神シニアカレッジ（4年制大学講座、阪神ひと・まち創造講座 等） ◆うれしの学園生涯大学（4年制大学講座、大学院講座）（嬉野台） ◆みてやま学園（4年制大学講座、大学院講座）（但馬） ◆ゆうゆう学園（4年制大学講座、大学院講座）（西播磨） ◆いざなぎ学園（4年制大学講座、大学院講座）（淡路）
(2) 高齢者放送大学事業の実施	◆高齢者放送大学（ひょうごラジオカレッジ） ◆ラジオカレッジサポーター
(3) 高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供	◆シニアニューススポーツ、全国健康福祉祭（ねんりんピック）

3 未来を担う青少年の育成

項 目	事 業 名
(1) 生きる力を育む体験教育の実施	◆嬉野台生涯教育センター - ひょうご冒険教育（HAP）、野外活動指導者養成講座、全県野外活動フォーラム、うれしの台ユースセミナー、うれしの台親子DAYキャンプ、学校の学習活動 等

	◆但馬文教府 小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」発行、科学する但馬の子ども作品展 研究集録発行、科学チャレンジ in 但馬文教府、ふれあい親子交流フェスタ (仮称)、学校の学習活動 ◆西播磨文化会館 にしはりまキッズフェスタ、プレーパークの支援、学校の学習活動 ◆淡路文化会館 国生みの島元気っ子フェスティバル、学校の学習活動
(2) ふるさと意識の醸成	◆小・中学生作文詩集「但馬の子ども」発行 (但馬) ◆にしはりまキッズフェスタ (西播磨) ◆国生みの島元気っ子フェスティバル (淡路)

4 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

- ◆大学等学校教育機関との連携 (協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
- ◆公民館等市町関係機関の連携 (協会本部)
- ◆博物館等社会教育機関の連携 (協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、淡路)
- ◆自治会等各種地域団体との連携 (いなみ野、西播磨)
- ◆高齢者大学関係組織との連携 (創生塾、いなみ野、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
- ◆広域ネットワーク組織との連携 (協会本部、創生塾、いなみ野、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
- ◆NPO、社会福祉協議会等地域活動団体との連携 (いなみ野、阪神)
- ◆各施設の魅力を生かした地域住民との交流 (いなみ野、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)

5 地域団体等の参画と協働による地域文化活動の支援

項 目	事 業 名
(1) 地域文化事業の実施	◆嬉野台生涯教育センター うれしの春のフェスティバル、うれしのまるとギャラリー、東はりま民謡 大会、東はりま大茶会、東はりま芸能祭、東はりまコーラス大会、 東播磨選抜美術展、「東はりま子午線」の発行、東播磨地域文化を考える会 ◆但馬文教府 但馬美術展、ふるさとの心をうたう但馬合唱祭、但馬歴史講演会、 但馬文学のつどい、「但馬作品集」の発行、但馬ふるさと芸術文化祭 ◆西播磨文化会館 播州段文音頭大会、播州段文音頭教室、ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭 西播磨ふるさと写真展、西播磨短歌祭、西播磨俳句祭、ふるさと意識醸成 プロジェクト ◆淡路文化会館 淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会、淡路島ココだけの文化祭、淡路日本画 セミナー、淡路洋画セミナー、全淡短歌祭、淡路島俳句大会、淡路文学作 品展、兵庫県地域文化を考えるシンポジウム
(2) 文化会館等の特性を生かした利用 促進	◆地域文化活動の支援

6 文化・芸術活動の拠点としての機能強化

- (1) 但馬文教府「ふるさと交流館」の活用
- (2) 淡路文化会館創立 50 周年記念事業の実施

7 経営の健全性・透明性の確保

項 目	事 業 名
(1) 安定した収入の確保	◆高齢者大学入学者の確保、適正な受益者負担の徴収、寄付募集の推進、オープンキャンパス（いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路） ◆高齢者手づくりの店、高齢者園芸センター、高齢者陶芸の村、貸館の施行実施 等
(2) 施設の改修による利便性等の向上	◆利用者増を図るための計画的な施設改修
(3) 職員の適正配置等による運営体制の整備	◆施設の効率的な運営の推進（協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路）
(4) 協会事業の透明性確保・広報の充実	◆協会事業の見える化（協会本部） ◆マスメディアとの連携（協会本部、いなみ野） ◆いなみ野学園情報提供番組の制作、発信（協会本部、いなみ野） ◆ホームページの運営（いなみ野、創生塾、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路）
(5) 経営改善の推進	

8 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた適切な対応

ふるさとひょうご創生塾第25期生、2年次に向けて実践活動テーマを設定！

ふるさとひょうご創生塾第25期生は、昨年11月までに、コミュニケーション、会議運営など地域づくり組織の運営に必要な知識やノウハウと、人口減少問題や環境問題、高齢者問題など各分野の地域課題を学ぶ基礎講座を終了し、12月から2年次に取り組む実践活動の企画づくりに取り組み始めた。

塾生一人ひとりが重要だと思う地域課題を取り上げ、それらを分類した結果、「人と人とのつながりづくり」「地域ぐるみの育ちあう場づくり」「在住外国人との暮らしやすい地域づくり」の3テーマを設定し、グループ分けを行った。

1月からは、各テーマの企画意図の詳細を詰めていくため、各自のテーマに対する思いや課題解決のための目的などについて、グループ内で真摯な意見交換がなされた。今後、4月には企画の中間発表が行われるが、それに向けて当分塾生の熱い議論が続くそう。



第64回兵庫県公民館大会を開催しました！

例年、県内の公民館職員等社会教育関係者が一堂に会し、研究協議を行い交流を図りながら、公民館活動のさらなる充実と発展を目指して、兵庫県公民館連合会との共催による「公民館大会」を開催しています。

今年度は、2月1日(火)にいなみ野学園において、「Society5.0 時代における公民館活動の在り方 ～With コロナ・After コロナにおける公民館活動～」を大会テーマに、コロナウイルス感染拡大の影響を受けて時間・規模を縮小しつつ、会場とオンラインのハイブリッド方式で実施しました。予定していた講演は動画撮りに変更し配信するなど、SNS 時代に向けた新たな取り組みとなりました。

大会では、兵庫県公民館連合会優良職員表彰を行い、次に、文部科学省総合教育政策局地域学習推進課課長補佐の田中勉氏より、Zoom を活用して東京から「社会教育の方向性について」と題した施策説明をしていただきました。その後、県内3地区から実践発表を実施し、講演講師である国立淡路青少年交流の家所長の大本晋也氏から講評をいただきました。

講演は、講師の大本氏と萬浪兵公連会長、稲家県教育委員会指導主事を交えた3名で、「Society5.0 時代における公民館のブランディング」と題して、パネルディスカッション形式で動画を録画し、後日 YouTube で配信しました。

コロナ禍で会場参加が難しい状況でしたが、人と人とが直接つながることの大切さを改めて感じられる大会となりました。After コロナにおける公民館のサバイバルについて、新しい発想や人と人とのつながりによる社会教育・生涯学習の発展が期待されます。



いなみ野学園だより

いなみ野学園「地域活動のとびら」を開催しました！

いなみ野学園・地域活動支援センターでは、2月4日(金)、学園の卒業予定者を対象に、地域活動への理解を深め、自ら取り組みを始めるきっかけとしてもらえるよう、地域活動実践グループによる活動紹介を行う地域活動促進説明会「地域活動のとびら」を開催しました。

当日は、県内各地の高齢者大学で実践活動に励む3グループより、活動の意義や魅力、グループ活動の楽しさなどを発表していただきました。

まず、うれしの学園生涯大学大学院16期生「昔の北はりまを伝え隊」から、地元の歴史や民話など地域の魅力を子供たちに伝える活動について、紹介されました。続いて、阪神シニアカレッジ「スマイル&クリーン」(自然環境保全活動)から、楽しみながら地域に貢献できる活動として、ウォーキングと清掃活動を合わせたクリーンハイキング活動を紹介されました。最後に、いなみ野学園「番組制作委員会」から、学園情報や地域の気になる話題を映像化し、地元ケーブルテレビで放映する活動を紹介されました。

説明会の締めくくりは、元兵庫教育大学大学院教授の廣岡徹氏が、それぞれの発表にコメントされ、地域活動への参加を勧められました。



ひょうごラジオカレッジ講演会「教えて！田辺先生」を開催しました！

例年、「田辺先生と行く、ワンデーバスツアー」で県下各地の歴史散策をしながら研修会を開催していましたが、コロナ禍により中止となり、今回、初めての試みとして、12月21日(火)に、「教えて！田辺先生」と題した講演会を開催しました。

講演では、「兵庫五国の歴史と文化から」をテーマに、五国の成り立ちや、兵庫が他県とは異なるユニークな県であることを教えていただきました。当日は、約60名の受講生が参加しましたが、講義に引き続いての質疑応答では、『教えて！』とばかりに、出席者から様々な質問が飛び交いました。田辺先生には、その一つ一つに丁寧かつ明快に回答いただき、活発な交流が行われました。



ひょうごラジオカレッジ在籍40周年表彰！

当カレッジの最高齢学生、丹波篠山市在住で106歳になれる小林ふみ子さんが、このたび、永年在籍40周年表彰を受賞され、先日、賞状と副賞をお渡ししました。

今もお元気で、感想文を自筆はがきで送ってくださいます。これからも生涯現役で学び続けていただきたいと思います。

当カレッジでは、「学び続ける人は輝いている」をキャッチフレーズに、ラジオを通じて生涯学習の場を提供しています。

令和4年度からは、年齢や居住地の要件をなくし、ラジオ講座による学習に意欲のある方なら誰でも受講していただけるようになりました。毎週土曜日、朝7時からの30分間、誰もが知っている著名な講師が様々なテーマであなたに語りかけます。ぜひ、一度お聴きください。

4月8日まで受講生を募集しています。(問079-424-3343)



「オープンキャンパス2021 第2弾」を実施しました！

阪神シニアカレッジでは、昨夏に引き続き、「オープンキャンパス第2弾」を12月24日（金）に実施しました。令和4年度の入学生を年明け1月4日から募集するため、受付開始日直前となるクリスマスに開催し、当カレッジへの周知、理解を深めてもらう試みです。

まず、カレッジ説明会では、入学案内と当カレッジの紹介動画を上映しました。その後、「NPO法人ゆずりは」に所属する若手演奏家4名によるクリスマスふれあいコンサートを開催し、クリスマスにちなんだ曲を中心に演奏いただきました。ピアノ、フルートによる演奏と歌唱は素晴らしく、来場いただいた皆さんに大変好評でした。

また、コンサート前後には、館内と当カレッジ自慢の屋上実習農園の自由見学を行いました。ボランティアグループ「ふーせんや」の方が館内のあちこちを風船アートで飾り付けてくださり、カラフルで明るい雰囲気に包まれる見学会となりました。当日は、100名を超える来場者に入学募集案内を持ち帰っていただくことができ、成功裏に終えることができました。

オープンキャンパスの効果もあり、1月4日から14日までの受付期間に定員180名を上回る265名から入学申込がありました。1月20日に公開抽選を行い、来年度新たに学生としてお迎えする内定者を決定しました。



学舎の屋上など5つの実習園は、野菜や花、ハーブや果実などが色とりどり！



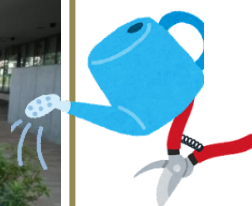
収穫と分配



トマトの誘引



ウェルカムガーデンの夏



令和3年度「うれしの学園生涯大学 実践発表会」を行いました！

2月8日（火）に本年度最後の講座となる「うれしの学園生涯大学 実践発表会」を行いました。クラブ発表、支部発表、学年発表の3部構成で行われ、第1部のクラブ発表では、書道クラブ、陶芸クラブ、川柳クラブ、絵画クラブ、能楽クラブの皆さんが、第2部の支部発表では加西支部の皆さんが、第3部の学年発表では大学院2年と4年制大学4年の学生の皆さんが、それぞれ発表しました。クラブ発表と支部発表では1年間の活動を、学年発表では学生生活のまとめを発表しましたが、本年度も新型コロナウイルス感染症拡大により思うように活動できない中、仲間と協力し作り上げたものを発表する学生のみなさんは、とても生き生きとされていました。

最後に講師の川島憲志氏から講評をいただき、発表会を締めくくりました。



◀ 書道クラブ発表



4年制大学4年手話発表 ▶



▲ 大学院2年「北播磨心
やさしい郷土食」発表

但馬文教府だより

「みてやま学園オープンキャンパス」を開催しました！

みてやま学園では、入学希望者や県民に学園の活動内容を知っていただくため、3月4日（金）にオープンキャンパスを開催しました。

入学希望者を中心とする参加者の皆さんは、午前中は「但馬の古墳」についての但馬の文化コースや麦わら細工コース、パソコンコースなどの専門講座を聴講し、午後からは俳句や民謡、ガーデニング、家庭菜園など10クラブから関心のある活動に参加していただきました。1日と短い時間でしたが楽しいひと時を過ごしていただきました。

みてやま学園ではまだ定員に余裕がありますので、引き続き学生を募集しています。生涯学習の場として、仲間と一緒に学びませんか。



「令和4年新年文化交流会」を開催しました！

新春1月5日、山口 壯環境大臣、池畑浩太郎衆議院議員をはじめ多くのご来賓をお迎えし、西播磨文化協会連絡協議会の新年交流会が盛大に行われました。

地元たつの市新宮町のオカリナグループ風音(かのん)によるオープニングアトラクションで開幕し、萬代新一郎同協議会会長の開会あいさつに続いて、令和3年度「ともしびの賞」の受賞者3名が紹介されました。受賞者のスピーチに対して、約80名の参加者から大きな祝福の拍手が贈られました。その後、同協議会に

所属する12の文化協会からの活動報告を受け、意見交換が行われました。

感染症対策のため短時間の開催でしたが、新年にふさわしい華やかな雰囲気の中での交流会となりました。



ゆうゆう学園「オープンカレッジ・趣味の作品展」を実施しました！

地域の皆さんや入学希望の皆さんにゆうゆう学園を知っていただくために、1月21日（金）と2月4日（金）の2回にわたって、オープンカレッジ（公開講座）を実施しました。

当日は、午前中の教養講座に続いて午後は大学説明会とクラブ活動見学会を行い、参加者の皆さんに学園生活を体験していただきました。また、両日も近隣の県立龍野北高等学校看護科2年生が高齢者看護実習の一環として学園を訪れ、朝の会やクラブ活動に参加して高齢者とのコミュニケーションを学びました。

また、この期間中、美術展示室では「趣味の作品展」を開催し、学園生をはじめOB・家族・会館職員がクラブ活動や日頃の趣味の成果を発表しましたが、いずれも力作ばかりで見入る人を楽しませていました。



ゆうゆう学園PRビデオを制作！

ゆうゆう学園では、令和4年度学生募集のためにPRビデオを制作し、西播磨文化会館ホームページ上で公開しています。今年度は学生の皆さんの協力を得て、ゆうゆう学園の魅力についてそれぞれの思いを語ってもらいました。講座やクラブ活動の様子もよく分かります。ぜひご覧ください。



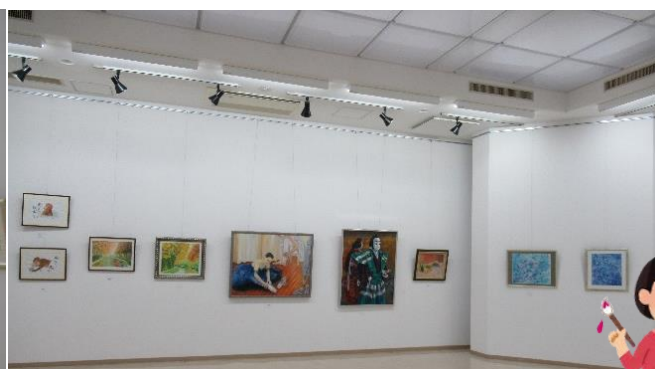
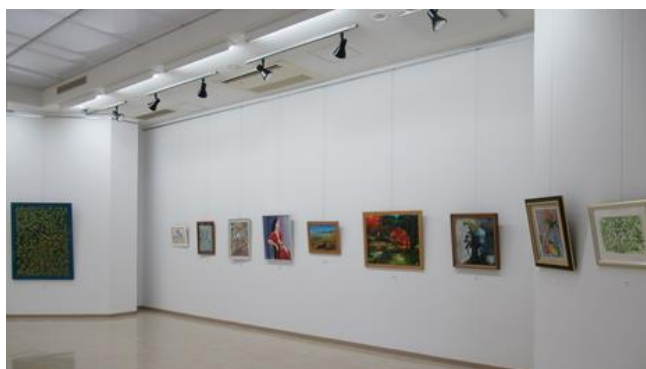
淡路文化会館だより

「令和3年度淡路洋画セミナー修了作品展」を開催しました！

淡路文化会館では、平成6年度から洋画の創作技術と鑑賞する眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培うために「淡路洋画セミナー」を開催しています。

令和3年度も「デッサンの基本」に始まり、「花のある絵」「静物画」「人物画」「抽象画」「風景画」など、様々なジャンルの制作に取り組んできました。

その成果である作品を展示した「令和3年度淡路洋画セミナー修了作品展」を、2月6日から19日まで美術展示室・県民ギャラリーで開催しましたが、50点に上る力作を大勢の来館者にご覧いただくことができました。



令和4年度受講生募集中！

淡路文化会館では、現在、各種セミナーや講座の令和4年度の受講生を募集しています。
大勢の皆様の申込をお待ちしています。

■ 淡路日本画セミナー

日本画の創作技術の習得と鑑賞眼の涵養を目的とした講座です。初級と中級に分かれて、それぞれ10回開催します（概ね月1回）。受講料等が必要です。

■ 淡路洋画セミナー

洋画の創作技術の習得と鑑賞眼の涵養を目的とした講座です。年間10回開催します（概ね月1回）。受講料等が必要です。

■ パッチワーク講座

パッチワークの楽しさや魅力を体験する講座です。入門と初級に分かれて、それぞれ10回開催します（概ね月1回）。受講料等が必要です。

各セミナー、講座の内容に関しては、「淡路文化会館」のホームページをご覧ください。

<https://www.awaji-bunkakaikan.jp/course.html>

令和4年度 淡路日本画セミナー 受講生募集

日本画の伝統的な技法や様式美を、楽しみながら学んでみませんか？

主催 (公財)兵庫県生きたがい創造協会淡路文化会館、
設立淡路文化会館運営委員会
会場 設立淡路文化会館 (〒696-1521 淡路市多賀600)

対象者 淡路地域に在住・在勤の方を優先します。

講座内容 初級コース 35名 中級コース 25名 (先着順)
兵庫県日本画協会推薦員 栗村 浩史 氏
年間10回【島外研修(作品鑑賞)1回を含む】
初級コース 日本画の創作に必要な、基本技法の習得 10:30~12:30
中級コース 日本画の創作に必要な、応用技法の習得 12:30~16:00

受講料等 年間 10,000円(会費含別給) 実習費別途で徴収します。その後、教材費等の個人負担費は、受講者負担となります。

申込締切 令和4年 4月8日(金)必着

申込方法 下記の受講申込書に記入のうえ、郵送、FAX、または持参によりお申込みください。

【申込・問い合わせ先】
淡路文化会館(令和4年度)事務局
〒696-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-65-1351
FAX 0799-65-0400

令和4年度 淡路洋画セミナー 受講生募集

洋画の基礎・基本を学びながら、楽しい夏のひとときを過ごしてみませんか？

主催 (公財)兵庫県生きたがい創造協会淡路文化会館、設立淡路文化会館運営委員会
会場 設立淡路文化会館 講堂 (〒696-1521 淡路市多賀600)
対象者 淡路地域に在住・在勤の方を優先します。

講座内容 年間10回(10:00~15:00)
※講座内容は変更になる可能性があります。

募集定員 50名(先着順)

講師 洋画家 柳宣田 完治 氏

受講料等 受講料一年間 10,000円 (自治会費年間 2,000円を別途徴収します)
※初級講座で受講します。その後、教材費等の個人負担費は、受講者負担となります。

申込締切 令和4年 4月8日(金)必着

申込方法 下記の受講申込書に記入のうえ、郵送、FAX、または持参によりお申込みください。

【申込・問い合わせ先】
淡路文化会館(令和4年度)事務局
〒696-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-65-1351
FAX 0799-65-0400

令和4年度 パッチワーク講座 受講生募集

パッチワークの楽しさや魅力を体験してみませんか？

主催 (公財)兵庫県生きたがい創造協会淡路文化会館、設立淡路文化会館
会場 設立淡路文化会館 講堂 (〒696-1521 淡路市多賀600)

対象者 淡路地域に在住・在勤の方を優先します。

講座内容 【入門講座】 全にほめて受講される方を対象
【初級講座】 先に観覧して受講される方を対象
各講座 20名(先着順)

講師 (公財)日本手芸普及協会/パッチワークキルト指導員 藤本 祐子 氏

講座回数 春講座 年間10回 【入門講座】10:30~12:30 【初級講座】13:30~18:30

受講料 年間12,000円 ※教材費については、別途ご負担いただきます。

申込締切 令和4年 4月8日(金)必着

申込方法 下記の受講申込書に記入のうえ、郵送、FAX、または持参によりお申込みください。

【申込・問い合わせ先】
淡路文化会館(令和4年度)事務局
〒696-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-65-1351
FAX 0799-65-0400



令和4年3月発行

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会
〒675-0188
加古川市平岡町新在家 902-3
TEL:079-424-3380 FAX:079-424-3475

いなみ野学園	079-424-3342
ひょうごラジオカレッジ	079-424-3343
ふるさとひょうご創生塾	078-360-9015
阪神シニアカレッジ	0797-26-8001
嬉野台生涯教育センター	0795-44-0711
但馬文教府	0796-22-4407
西播磨文化会館	0791-75-3663
淡路文化会館	0799-85-1391